

# 令和4年7月 経営協議会（対面・オンライン併用）議事録

- I. 日 時 令和4年7月21日（木） 14時00分～16時02分
- II 場 所 学術総合センター 一橋講堂特別会議室101～103
- III. 出席者 中山学長、犬養、岩田、香藤、河田、草開、黒木、塩尻、島田、銭谷、西堀、萩原、船橋、宮坂、中谷、渡邊、藤江、金原、手島、堀、岩崎、小澤、佐藤（之）、横手、諏訪各委員

がざー 角倉、山本各監事

※下線はオンライン出席者

- IV. 前回議事録について  
原案のとおり承認された。

## V. 審議事項（◎学外委員、○学内委員）

### 1. 柏の葉キャンパスの利用について

手島理事から、柏の葉キャンパスの利用について説明があり、審議の結果、承認された。

### 2. キャンパスマスタープランの改訂について

中谷理事及び安森キャンパス整備企画室長から、キャンパスマスタープランの改訂について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

主な意見は以下のとおり。

- ◎ 過去2回のマスタープランはどのように実現されたのか。あるいはしていないのか。世界に伍する教育研究機関を目指すにあたって、海外の研究者等と共同研究できる施設をつくってもらいたい。また、多様性を尊重し、「学園の道」については安全面を十分に考慮してもらいたい。
- 大学の建物は概算要求で予算化された時に建てられるものが多く、また墨田サテライトキャンパスのように区との協調によりできたものもあり、全てがマスタープラン通りに進んでいるわけではない。しかしながら美しいキャンパスを維持しつつ、良い教育研究ができ、安全面を考慮した市民に開かれたキャンパスにしていきたい。
- ◎ マスタープランの実現には、財政的なバックアップがないと進まないということで、それは今ご指摘があったように文科省の予算に沿った形になるのはやむを得ないことだと思うが、マスタープランのうち大学全体としてのプライオリティ、あるいはキャンパスごとのプライオリティは検討しているのか。
- 前回の経営協議会でご意見をいただいた東大生研跡地の利用については、非常に重要かつ喫緊の問題であると考え、しっかりとした形で考え方を作り始めているところである。また、先ほど審議した柏の葉のキャンパスの整備もある程度大学の予算も使いながら進めている。また、建物の老朽化対応は守りの対応ではあるが、安全安心のために一定の整備を進めていく。

- ◎ 昔に比べてキャンパスに緑がかなり増えて美しいキャンパスになった印象だが、緑を増やすわけではないという文言があるのはどういう意図か。また、かつて園芸学部を西千葉に移転させることを模索していたと思うが、園芸学部の移転計画はもうなくなったと理解してよろしいか。
- 緑については木がかなり大きくなり、老木も多くなったことから維持費がかなりかかっているが、それを少なくするという意図はない。今後グリーンモールのような緑の道を整備する際に植樹はあり得る。園芸学部の移転については、松戸市からの反発、費用面、附属農場等の問題から立ち消えになったと理解していただいてかまわない。今後は今の松戸キャンパスを整備・充実させていきたい。
- ◎ 大学のキャンパスは学生や地域住民にとって生活圏の一部でもあるので、そういった人たちの意見を聞いて具体化していくのが良いと思う。
- 今後もそういった人たちの意見もいろいろと反映させながら、特に東大生産研跡地ではそういうことも考慮しながら進めたい。
- ◎ 大学も一つの組織であり、教職員がいて、学生がいる。組織を一体化させる方法がいろいろあると思うが、例えば、そういった求心力を作るために、学生と教職員が討論会や発表会などをアウトドアでできる場があると良いと思う。

## VI. 報告事項 (◎学外委員、○学内委員)

1. 国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等について  
手島理事から、国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等について、資料に基づき10月末の報告書公表に向けたスケジュールに関して報告があった。
2. 学長の業績評価結果について  
宮坂学長選考・監察会議議長から、学長の業績評価結果について、資料に基づき報告があった。
3. 令和3年度卒業生・修了生の進路状況について  
渡邊理事から、令和3年度卒業生・修了生の進路状況について、資料に基づき報告があった。
4. 医学部附属病院の運営状況について  
横手副学長から、医学部附属病院における新型コロナウイルス感染症への対応状況、2022年4・5月累計の収支状況、2022年4月から6月の稼働状況及びその他の運営状況について、資料に基づき報告があった。
5. 新型コロナウイルスへの対応について  
中谷理事から、本学における新型コロナウイルス感染者等の状況について報告があった。続いて、小澤副学長から、現在の授業の実施状況等について報告があった。主な意見は以下のとおり。

- ◎ 厚労省の国立感染研のデータによるとオミクロン株 BA. 5が日本で100%になるの

は8月の第1週と言われており、現在の増え方のから計算すると1日の感染者数が30～40万人になるおそれがある。ワクチンの3回目、4回目接種が非常に重要である。

## 6. その他

- ① 国際高等研究基幹（IAAR）キックオフシンポジウムの開催について  
中山学長から、国際高等研究基幹（IAAR）キックオフシンポジウムの開催について、資料に基づき報告があった。

## VII. 協議事項

- 1. 令和3年度の成果と課題について  
中山学長から、令和3年度の成果と課題について、資料に基づき説明があった。

以上